

第1学年 生活科学習指導案

対象：第1学年1組 27名

授業者：奥村 奈生

1 単元名 「もうすぐ2年生」

小単元名「あたらしい1年生をしょうたいしよう」

2 単元目標

入学してからの1年間を振り返ったり、新しい1年生との関わりを深めたりする活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これからの成長への願いをもって意欲的に生活することができるようにする。

3 小単元の評価規準

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|---|--|--|
| 評価規準 | ア 新しい1年生のために自分たちにできることがあることや関わることの楽しさ、その良さに気付いている。 イ 新しい1年生に分かりやすく伝えるために、集めた情報をまとめている。 | ア 新しい1年生が喜んでくれそうなことをあいての立場になって考えたり、予想したりしながら、計画や準備をしている。 | ア 新しい1年生に喜んでもらえるように意欲的に活動しようとしている。 イ 自己評価や他者からのフィードバックを生かしてより分かりやすく伝えようとしている。 |

4 小単元について

(1) 指導内容

本単元は、第1次「1年かんをふりかえろう」、第2次「できるようになったことをあつめよう」、第3次「あたらしい1年生をしょうたいしよう」、第4次「しょうたいしたことをふりかえろう」の小単元で構成されている。

本小単元「あたらしい1年生をしょうたいしよう」では、近隣保育園・幼稚園の園児を学校に招待し、学校のことを教えてあげたりみんなで遊んだりする交流を予定している。交流前には、自分が入学前に不安に思っていたことや楽しみにしていたことを振り返り、どんなことを知りたかったかを考えさせる。また、近隣保育園・幼稚園と連携し、園児に対し、小学校入学に向けてどのようなことを知りたいか、不安に思っていることは何なのかなどについて口頭でのアンケートを行う。それらを基に、相手の不安を解決し、学校を楽しみに思ってもらうためには何ができるかについて考えることができるようにする。入学してからの1年間を振り返ったり、新しい1年生との関わりを深めたりする活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考え、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったことや役割が増えたことなどに気づき、これからの成長への願いをもって意欲的に生活することができるようにする。

(2) 創造的な資質・能力の素地を重点的に育成する単元として設定した理由

新しい1年生がどうすれば、楽しんでくれたり、学校を楽しみに思ってくれたりするかをグループ活動で考える活動が児童にとって身近で、「他者意識」を身に付けさせるのにふさわしいと考えた。また、考えたことや工夫したことを相手に伝えるという活動を通して、プレゼンテーション等の資料や発信方法を工夫する力の育成を図ることができる。

(3) キャリア教育とのつながりについて

本単元では、自分の成長を振り返るとともに、入学してからの1年間で上級生に助けてもらって嬉しかったことなどからなりたいたい上級生像をイメージし、行動することは「自己理解・自己管理能力」の向上につながる。また、一緒に計画する友達や新しい1年生と仲良く活動したり相手が望んでいることを考えたりすることで「人間関係形成・社会形成能力」を育成することができる。

(4) カリキュラム・マネジメントについて

- ・国語科「みんなに知らせよう」の、声の大きさや聞きやすい速さで話すなどの発表の仕方や質問の仕方を生かして、グループでの話し合いや新しい1年生との交流会での発表を行う。
- ・道徳科「みんなみんな、ありがとう」と関連させ、新しい1年生のためにできることを考える心情を育てる。
- ・学校行事「未来づくりフェスティバル」、学級活動(1)での話し合い活動や集会活動の経験を基に、今回の交流会の計画、準備を行う。

5 児童の実態

本学級の児童は、入学当初から6年生に掃除の仕方など様々な学校生活のことについて教えてもらう経験をしている。また、6年生だけでなく様々な学年と休み時間に遊んだり、鍵盤ハーモニカの弾き方を教えてもらったりして上級生との関わりを楽しんでいる。また、2年生と遠足に行き、助けてもらったり支えてもらったりした経験から、「わたしも2年生になったら1年生に優しくしてあげたい」と、年下の友達と関わることへの期待感を高めている。

自分で考えたことや気持ちなどを相手に伝えることを好んでいる児童が多い。しかし、苦手なことに直面したり、困ったことがあったりすると、諦めてしまう児童もいる。そのため、友達に相談する活動や自分の考えを認められる経験を多くできるようにし、学習活動に前向きに参加できるように支援していく。

6 指導の手だて

(1) 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

新しい1年生に喜んでもらうためにはどんな準備をしたらよいかをグループで考え、相手に伝えたり話し合ったりする活動や、近隣の幼稚園や保育園の園児に「どんなことが知りたいか」、「どんなことが気になるか」などの思いを写真とともに掲示する活動を通して、分かったことや考えたことを相手に分かりやすく伝えるための言語や情報技術に関する知識及び技能を身に付けることができるようにする。

(2) キャリア教育の4つの能力を育成するために

今回、交流会を「みんなであそぼう」と「おしえてあげよう」の二部構成にした。「みんなであそぼう」では、より仲良くなるための遊びを全員で行い、「おしえてあげよう」では、グループになって小学校のことを教えてあげることにした。グループが関わる園児を限定することによって、より相手意識をもって活動

できるようにする。また、準備の際には、相手の意見を聞き、受け入れる態度や姿勢を指導し人間関係形成能力を図る。

第1次、第2次で、自分の成長や多くの人に支えてもらっていたことに気づき、上級生になる意欲をもてるようにする。活動の中で、上級生にしてもらって嬉しかったことをしてあげられるように指導することで、「自己理解・自己管理能力」を育成する。

(3) ICT等の活用

グループになって考えたことをオクリンクプラスで共有し、児童の考えを広げたり振り返ったりする。また、交流の際の写真提示や説明のプレゼンテーション等で活用する。

7 指導計画

| 次 | 時 | ○主な学習活動 ★指導上の留意点 | ◆評価規準【観点】(評価方法) |
|---|-----------|---|--|
| 3 | 1 | ○学習計画を立てる。 ★活動の見通しをもてるように、模造紙に計画をまとめる。 ★交流会は「みんなであそぼう」と「おしえてあげよう」の二部構成で行うことを確認する。 ○自分たちが入学前に知りたかったことや新しい1年生に教えてあげたいことを考える。 | ◆相手の立場になったり予想したりしながら、計画や準備をしている。 【思】ア(観察・話し合い活動の観察) ◆自分にできることを考え、楽しさに気付いている。 【知】ア(観察・オクリンクプラス・話し合い活動の観察) ◆集めた情報をまとめている。 【知】イ(観察・作品・オクリンクプラス) ◆話し合い活動に積極的に参加し意欲的に活動しようとしている。 【主】ア(話し合い活動の観察) |
| | 2 (本時) | ○「おしえてあげよう」で、どんなことをすればよいかを出し合い、決める。 ★学習の過程を見返しながら進めていけるように考えたことをオクリンクプラスにまとめさせる。 | |
| | 3 | ○「おしえてあげよう」の準備をする。 | |
| | 4 | ○「みんなであそぼう」で、一緒にしたい遊びを考える。 ○会を盛り上げる工夫を話し合う。 | |
| | 5 6 | ○リハーサル ★他のグループの発表を聞き、よいところやアドバイスを伝えることができるよう助言する。 ○アドバイスを基に修正する。 | |
| | 7 | ○新しい1年生を招待して、いっしょに活動する。 | |

8 本時の指導（第3次全7時間中の第2時）

(1) 目標

新しい1年生に喜んでもらえるように、学校のどんなことを伝えたいのか、また、どんなことを一緒にしたいのかについて話し合うことができる。

(2) 展開

| | ○主な学習活動 ・予想される児童の反応 | ◆評価規準【観点】(評価方法) ★指導上の留意点 |
|---|---|---|
| 導入 | ○前時の学習内容を振り返る。 ○本時のめあてを提示する。 | ★指導者はファシリテーター役となって、計画や課題を基に児童がめあてを設定できるようにし、自立的な学びを促す。 ★想起しやすいように、前時の学習で出し合った「自分たちが入学前に知りたかったこと」や「新1年生に教えてあげたいこと」についてまとめた資料を提示する。 |
| <p>あたらしい1ねん生によるこんでもらうためにしてあげることにかんがえよう。</p> | | |
| 展開 | ○伝える方法について全体で出し合う。 ・クイズ・紙芝居・実際に体験させる ・動画・スライド・ポスター・写真 ○新しい1年生の思いを知る。 ○「おしえてあげよう」の内容を話し合っ て決める。 ・鉛筆の持ち方体験・平仮名体験・休 み時間の遊び人気ランキング・給食 の写真 | ★未来づくりフェスティバルで行った発表方法を思い出せるようにする。 ★児童が相手意識をもって活動に参加できるようにするために、新しい1年生の思いのアンケート結果をクラス全体で確認する。 ★決まっていることを確認する。 ★学習の過程を見返しながら進めていけるように考えたことを、オクリンクプラスを活用し、まとめることができるようにする。 ★めあてに沿って考えているか、イメージは共有できているかを机間指導で確認する。 ◆新しい1年生が喜んでくれそうなことを相手の立場になって考えたり、予想したりしながら、計画や準備をしている。 【思】ア(観察・話し合い活動の観察) |
| | <p>決まっていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに来る子の人数 2, 3人 ・「おしえてあげよう」の時間 10分 ・場所 1年生の教室(移動は無し) ・教える内容 3つまで | |
| 振り返り | ○決めたことを発表する。 ○振り返りをする。 | ★他のグループの考えの中でよいと思ったことを共有できるようにする。 ★オクリンクプラスを活用し、振り返りができるように助言する。 |